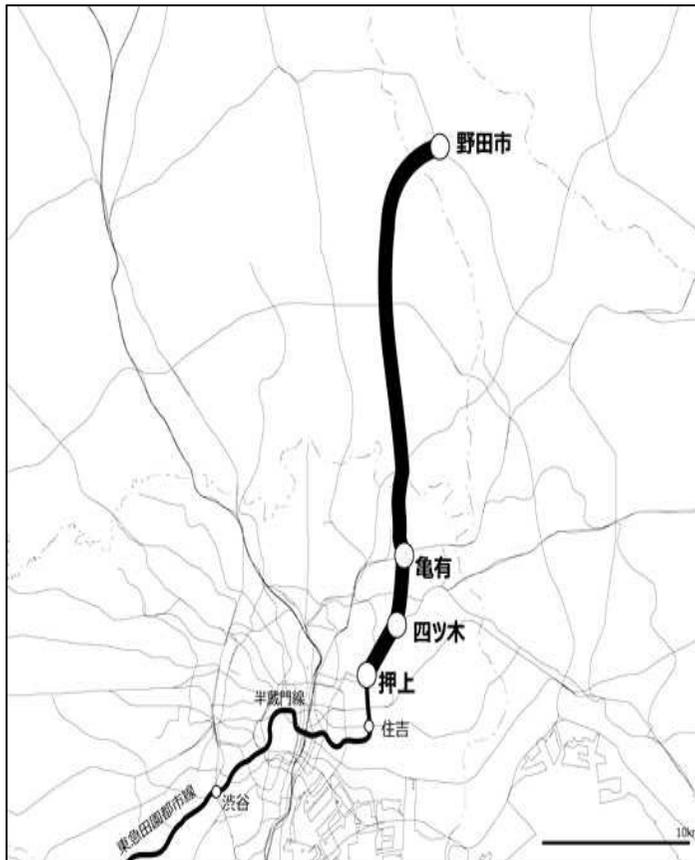


13. 交通政策審議会答申第198号「東京圏における今後の都市鉄道のあり方について」【平成28年4月】

平成28年 交通政策審議会答申第198号

- 平成28年4月20日、概ね15年後（2030年（平成42年）頃）を念頭に置いて、地下鉄、民鉄線及びJR在来線のほか、モノレール、新交通システム、路面電車等を含む鉄軌道を対象として、交通政策審議会答申第198号「東京圏における今後の都市鉄道のあり方について」取りまとめ
- 答申第198号の特徴として、前回の18号答申のような格付け、順位付け（A1、A2、B）が行われておらず、「意義」と「課題」という形で整理



<13> 東京8号線の延伸（押上～野田市）

- 住吉～四ツ木間は東京11号線を共用する。

【意義】

- 都区部北東部、埼玉県東部及び千葉県北西部と都心部とのアクセス利便性の向上を期待。

【課題】

- 事業性に課題があり、複数の都県を跨がる路線であるため、関係地方公共団体等が協調して事業性の確保に必要な沿線開発の取組等を進めた上で、事業主体を含めた事業計画について十分な検討が行われることを期待。
- なお、茨城県が、東京の都市機能のバックアップ等の観点から、東京都心と近隣地域（茨城県西・南部地域）とのアクセスを改善する道路・鉄道網の強化策として、更なる延伸について検討している。